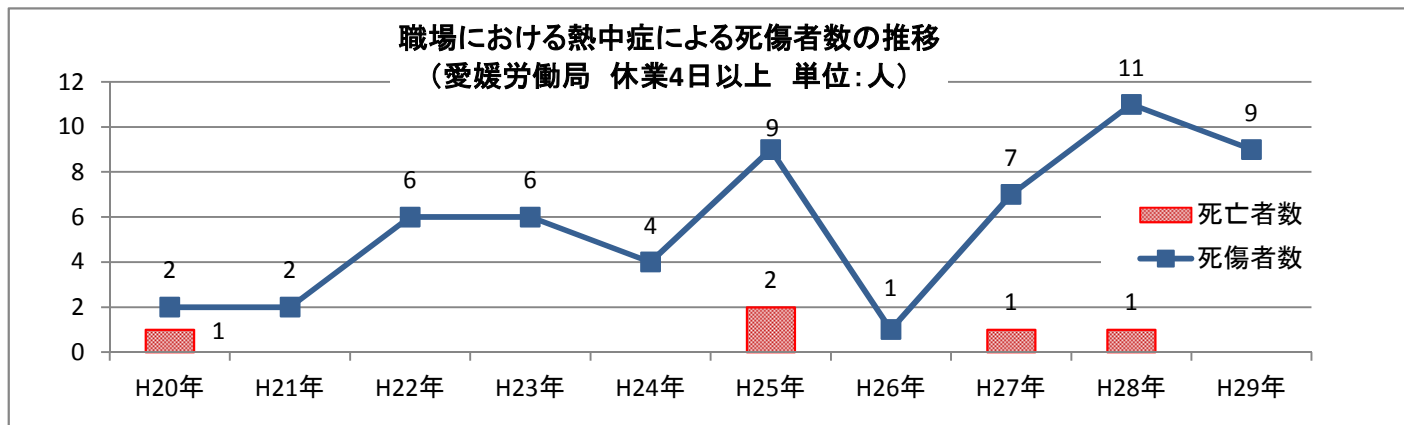
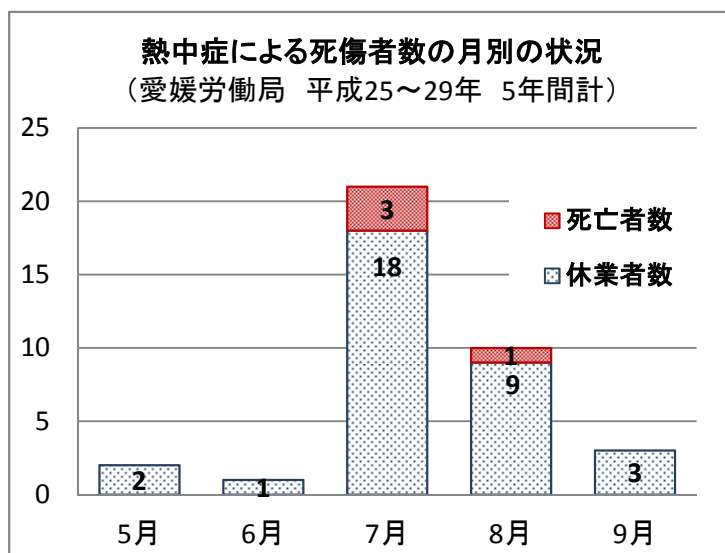
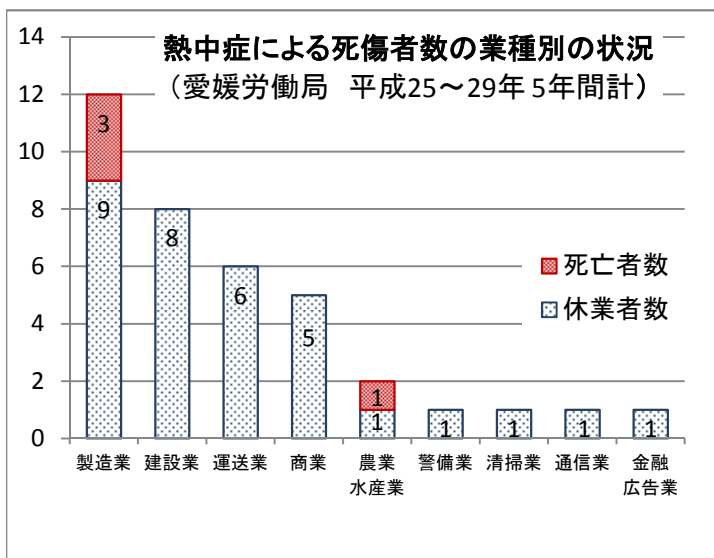


## 職場における熱中症による死傷災害の発生状況 (愛媛労働局 休業者数は休業4日以上)

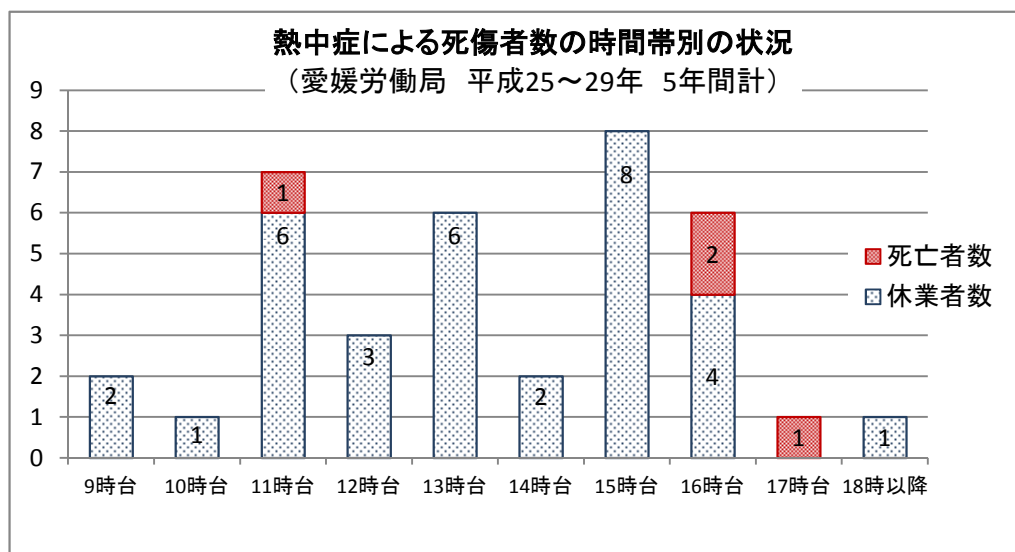


職場における熱中症の罹患者(休業4日以上)は、平成28年は11人で近年(H20年以降)では最多であった。平成29年は9人と前年比2人減少となったものの、近年では2番目に多い状況にある。



過去5年間(平成24年～29年)の熱中症の死傷者は、業種別では製造業が最も多く全体の約3割を占めており、死亡者も3名と多い。次いで建設業、運送業、商業の順となっている。

月別では、7月が最も多く、次いで8月となっており、この2月で全体の85%を占めている。



時間帯別の発生状況は、11時台、15時台、16時台が多く、この時間帯に死亡者も3人発生している。

始業及び昼休憩終了後、一定時間の作業を実施した後に発生しているものと推測される。